



HSK
ふみ づき
文月号
NO.128 2011.7.10号
Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号472号
発行/2011年7月10日(毎月10日発行)
編集者/我妻 武
住所/〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
H P <http://npolife.net/>
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
定 価/100円

ライフは8月から組織替えしました

NPO札幌・障害者活動支援センターライフ
専務理事 **石澤 利巳**

1989年、5名の障害者による働く場「障害者ワープロフロア」として出発して、22年が過ぎました。創設メンバーの、岩見沢高等養護学校卒業したてで母体のオフィス・イマージュに押し掛け「入社」してきたY・K君も四十路の仲間入り。昨年20周年祝賀会を開催しましたが、まだまだ発展途上のライフです。

ワープロフロアから10年が経ち「小規模作業所おおぞら」が生まれ、「自然食品の店ひだまり」が続きました。また、2000年にはNPO法人格を取得し共同住居の建設をめざしてきましたが、資金不足のため計画はまだ実現できていません。そこで、まずは共に働く場づくりをめざし、2006年に大きな組織替えをしました。

就労継続支援A型や札幌市障がい者協働事業制度を活用し、「共働事業所」という名称の事業所が2カ所とB型事業所2カ所、居宅介護事業所の5つの事業所に替わって5年になろうとしています。

今年の4月から、札幌市リサイクルプラザ発寒工房・札幌市リユースプラザの委託事業を落札し、新規事業を開始しています。この事業は、家庭から出される大型家具や自転車の修理・展示販売、リサイクルやリユース事業の市民啓発を行うものです。札幌市障がい者協働事業制度を活用し、新たに7名の障害者と6名のスタッフ、16名のシルバーが働いています。

そして、8月からは、市民活動プラザ星園(旧星園高校跡施設)に、「アウトソーシングセンター元気ジョブ」と印刷事業の「共働事業所もじや」が移転します。そのため、総会でも報告したように、幾つかの組織再編と移転をすることとなりました。

取引先の皆様をはじめ、関係各位にはご迷惑ご不便をおかけしますが、これからも宜しくお願ひ致します。

8月1日より各事業所の配置場所は 下記ようになります

- 西区琴似2条5丁目3-5(マンションモモ)
NPOライフ本部事務局 TEL633-6666 FAX613-9323
共働事業所 きばりや TEL644-5533 FAX613-9323
共働サービス たねや 分場(来春から生活介護型に転換予定)
- 西区二十四軒4条6丁目5-32(傍楽亭)
共働サービス たねや TEL613-0611 FAX644-0088
ヘルパーステーション 繭結 TEL623-2505 FAX644-0088
- 西区琴似2条3丁目2-37
コン・プリオ ひだまり TEL615-4131 FAX615-4132
- 北区北8条西3丁目 札幌エル・プラザ3階
Cafe de Kibariya TEL/FAX758-6533
- 中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園内
アウトソーシングセンター 元気ジョブ TEL596-6581 FAX596-6582
共働事業所 もじや TEL596-6583 FAX596-6584
- 西区発寒15条14丁目2-30
リサイクルプラザ 発寒工房 TEL662-7815 FAX662-7816
- 厚別区厚別東3条1丁目1-10
札幌市リユースプラザ TEL375-1133 FAX375-1155
- 共同生活体 西区内に2カ所

雑多な事業所集団から相互商(小)社をめざそう

専務理事 石澤 利巳

ある調査の報告で「(ライフは)非常に雑多な取り組みになり収益の軸がないともいえるが、多様な仕事を生み出して障害に合わせた仕事を提供するというスタンスが優先されている」と書いてありました。来るもの拒まずで、印刷事業や飲食業、軽作業等、新しい仲間の仕事づくりを進めてきた結果でもあります。同時に、収益の基幹事業がないのではなく、各々が収益の軸でもあり、リスク分散型の事業集団として考えてきました。その結果、各事業所は15名程度の働く場であり、ライフは小規模事業所の集合体ともいえます。

【飲食事業／コンプリオひだまり・カフェドゥキバリヤ】

【軽作業食品販売業／共働サービスたねや】

【印刷関連事業／もじや・きばりや】

【環境事業／発寒工房・リユースプラザ】

【居宅介護事業／蘭結】

これが私たちの仕事であり、総数120名の共に働き、共に生きる場であります。

名付けて、相互商(小)社。それは、社会的な困難を抱える人たちの特技を活かし、一人ひとりが支え合い誇りを持って働き続け、同時に各事業所が経済的にも共に支え合う「連帯経済・集団」となることが、相互商(小)社＝社会的事業所の役割

と私は考えています。

そのためには、共働を軸とする事は重要な柱です。と同時に私たちは単なる利潤追求の集団ではないのですから、自ら作りだすものは、地域社会に貢献するものでなければなりません。

飲食業をひとつの例とすれば、食事を作ってお金を得るのですが、それだけが目的ではありません。安かろう悪かろうの食材で暴利を貪るビジネスではなく、地域の住民にとって必要な「食堂」になる事です。すでに行っている、高齢者のお宅に配達することもそうですし、一人住まいの障害者にたいし、バランスを考えた弁当を作ることもそうです。

要は、誰に対して食事を作っているのか？ 材料は吟味しているのか？ また、地域価格を破壊してはいないか？ 等々を考えつつ、作り手としてのポリシーを持つ事が大切だと思います。当然、商品としての価値も重要なことであります。これは、すべての事業に共通するものです。

それらのことを肝に銘じ、発展途上のライフですが、これからも「社会的事業所」としての自覚をもって事業を推進していきます。

皆様の引き続きのごひいきをお願い申し上げます。

被災地を回ってみて

きばりや所長 岡田 悟

6月7日から10日まで岡田・下斗米・石澤と熊本県・滋賀県の共同連の仲間、合計5名で大船渡から陸前高田・南三陸など海沿いを南下し、宮城に入り亘理まで回ってきました。

今回は前回4月に元気ジョブ大加瀬氏がゆめ風基金の宮城センターで行なったような直接的な支援ではなく、共同連の仲間の事業所を回り、状況を聞き取ると共に、今後の長期的な支援をしていくにあたって何ができるかを考える。また、私達がこの教訓を活かし、震災にどういった準備が必要かをもち帰ることが、大きな課題だったのではないかと思います。とはいえ、やはり海沿いの状況は悲惨な光景でした。テレビなどで見るよりも180度の瓦礫の山には衝撃を受けました。その中でも船の撤去や瓦礫の撤去、家も土台を残すのみであったり、徐々に復興に向けて進んでいるようにも思えました。ただ、その地域の前の状況が

わからないため一概には言えませんが、復興への地域差があったようにも思えます。

また、仲間の事業所を回ったところ、高台にあり建物の損傷がなかったなど、ある程度の食料が備蓄されていたため、一次避難所として使用される事業所も多かったようです。そして、地震が起きた時間もギリギリ仕事時間だったことで、利用者の多くの安否はすぐに確認がとれたようです。しかし、少しでも時間がずれていたらさらに被害が大きかったという話も聞きました。札幌でもしっかりと避難所を決めると同時に、事業所ネットワークを作り、ある程度の個人情報の交流を行なうことで近くにいる方とすぐに確認が取れる体制を作っていく必要を感じました。



社会的事業所集団
はたらくてい
傍楽亭

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市西区二十四軒4条6丁目 5-32
テラ二十四軒 1F

TEL (011) 633-6666
FAX (011) 644-0088



元気ジョブ移転のお知らせ

所長 織本 義昭

8月1日より元気ジョブは、市民活動の新拠点「市民活動プラザ・星園」(昨年3月に閉校した星園高校跡)に移転することになりました。

星園高校は1973年に、中央区南8西2に定時制高校として建てられ、多くの若者の学びの場となってきたところで、4階建てでなんと延べ約4400㎡の大きなスペースがあります。2階の一部と3・4階にNPO法人などの事務所が入居し、その他貸室・会議室として利用される予定。

元気ジョブの事務所は1階で、現在の1.5倍の広さ(55㎡)になり、2階の一部に今秋入居予定の協働事業所との共有スペースもあり、そこで何カ所かの作業所が集まって共同で作業することも可能になります。しかし可能性の広がり現実がちがいます。いずれにしてもどれだけの業務量をジョブとして確保できるかが大きな課題となるでしょう。

1階には、共働事業所「もじや」の制作・印刷部門も入るので少し安心してはいますが、1年半という短い期間であったにもかかわらず、慣れ親しんだ琴似地区の繭結とひだまりの仲間と離れることは、少し寂しい気もしています。

この移転を契機によりいっそう企業・行政から業務を受注し、与えられたスペースを有効に活用しなければとあらためて思っているところです。

星園の管理・運営をするのは「札幌市青少年女性活動協会」。ニート、ひきこもりなど若者の就労支援にとりくんでいるところです。

入居する様々な団体とも連携して、新たな社会的事業をつくりだしていくことができると楽しみにしています。

立地の良さは抜群、(ネオンの誘惑に負けないで、時にはハメをはずしてガンバルぞ！)

Map



業務開始日 2011年8月1日より

新住所 064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目
「市民活動プラザ・星園」

交通アクセス 地下鉄南北線中島公園駅より徒歩5分

新電話番号 011-596-6581

新FAX番号 011-596-6582



市民活動の新拠点などとして活用される旧札幌星園高校舎

札幌市リユースプラザ〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816<http://www.reuseplaza.jp/>**— 人類の責任 —**

発寒工房館長 ジョン ウルク

私達は、地球環境問題に、もっと取り組まなければいけません。日本では実感しにくいかも知れませんが、この地球に住んでいる4人に1人は、電気を使ったことがないのです。そして、地球の1/3では電気を限定して使っています。一方では人類の約半分は、豊かに生きる為に石炭、石油、化石燃料等の天然資源を大量に消費しています。

資本主義では、富を求めて、人や科学、環境、経済、政治等が動くシステムになっています。その中で私達が、つい見逃してしまうことは富

が増えれば増える程、不幸も増えるのだと気づき目を覚まさなければいけません。

今、世界の30億の貧しい国の

人々の、生活を向上させるのに必要な石油と化石燃料は今のところ足りているが、核電力に必要なウラニウムは不十分という現実があります。要するに世界経済は化石燃料に依存しているということです。

私達の食糧は、石油化学肥料と殺虫剤を使って栽培しています。その他プラスチック包装、建築資材、合成樹脂、医薬品以外も建物の冷暖房、照明など経済を動かす電力のすべてが化石燃料から作られています。更に、中国、インド意外の人口20億以外の発展途上国の経済と、社会の近代化に全力をあげる最中、石油、石炭、

天然ガスの消費量を増やしながら資源を求めています。

今回の東日本大震災後、世界では原子力発電の使用見直しを始めました。この地震の影響もあり、天然資源の消耗は加速化されるでしょう。各国では限られている資源を得る為に熾烈な競争をしているのです。



世界人口が今より増える状況で限られた資源は更に高騰し、得ることが限定されるでしょう。富が増えると人は、物質的生活に囲まれ、人々の集団として対する他の人の困難に鈍感になります。そうすると共感意識も弱くなります。しかし、私達が共感意識を最大にして継続的に可能なグローバル化社会を作ることは簡単に始めることが出来るのです。そういう素材は地球のどこでも私達の身近なところにたくさんあるのです。

例えば、今私達が関わっているゴミのリサイクル、リユースは良い例です。お金が掛らない、そして手に入り易い、季節が変わっても生物圏の周期が変わっても再生可能なエネルギー体系はエネルギー革命を創造することです。そのエネルギー体系に基づいて経済的な革命を実現しなければなりません。地球上のすべての人類が生物圏の健康を回避しないようにしながら、生の質を向上する可能性を提示することで地球での生活は継続的に続くのです。



リユースを合い言葉に!!

札幌市リユースプラザ 松永 クニ子

森館長を筆頭に、総勢7名の職員で日々業務を行っている札幌市リユースプラザです。でも、どんなことをしているのか、なかなか名前から伝わって来ないと思います。

まず、「リユース」についてどんな事業をしているのかを説明します。リユースプラザの建物は、展示場と事務室、市民工房(家具の洗浄・簡単修理と講座用)の大きく3つに分かれています。

展示場の中には、ダンボール箱、雑がみの保管場所や配送家具・修理済みの家具の一時保管庫をパーテーションで仕切っています。

施設の大部分を占める展示場に並ぶ家具は、毎週水曜日に発寒ヤード(大型ごみのリサイクル家具の保管庫)から発寒工房ジョン館長と森館長が30~40点の家具を選別します。水曜日に大八清掃のトラックで運ばれ、洗浄と簡単修理を施し展示場に並びます。

ところで、市民のリサイクル収集の対象品目を知っていますか?

リサイクル収集の対象品目

- ① 基本的にそのまま利用可能なもの。
- ② 子供用遊具・自転車以外は木製品に限ります。

- いす ●げた箱 ●サイドボード
- たんす ●戸棚 ●テーブル
- 机 ●子供用遊具 ●自転車



平成21年5月から配布された「新ごみ分けガイド」に掲載されていますが、じっくり読んでことありますか? ぜひ、この機会に読んでみて知らない人に教えてあげてください。リユース品の販売は、札幌市民のみとなっています。

「Reuse (リユース) とは繰り返し使う、

捨てる前にもう一度考えよう!!」

リユースプラザ館長歴4ヵ月の森館長ですが、発寒ヤードでの家具の選別・リユースプラザでの家具の受入など日々体を酷使しています。とっっても暑がりの森館長は、これからの本格的な猛暑に頭を悩ましています。先日札幌市から扇風機が2台入りました。実は、冷房設備のないリユースプラザなのでした。



「リユースプラザ文化祭」(仮称)

9月4日(日)AM10時~PM3時

- フリーマーケット、福祉バザー
- マジック・バルーンアート(予定)
- 厚別区PTA連合会よさこいチームの演舞
- 保育園児の絵画展

など盛りだくさん

札幌消費者協会による「おもちゃのばくりっこ」もあります。





♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

♪ **共働サービス たねや**

♪ 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5

♪ マンションMOMO 102

♪ TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

♪ taneya@npolife.net

♪ ・チラシ折り

♪ ・封筒詰め作業

♪ ・箱折り

♪ ・シール貼り

♪ ・清掃委託業務

♪ ・その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

「私の清掃デビュー（インテル長靴工場）編」

増田 真理子



私は今年から清掃デビューをしました。私は週1回に行っています。インテル（長靴工場）では、トイレそうじをしています。すぐにおぼえました。さいしょは1人でタオル洗いはできなかつたりさいごに人の顔を見ないであいさつができなかつた事もありました。今は1人でタオル洗いしています。あいさつは人の顔を見てちゃんとしています。トイレそうじが終わったらロッカーのそうじもしています。今年も清掃続けたいです。

「今の自分の目標」

笹尾 知弘

今は履歴書をかいてる途中なんです、肝心な所でつまづいています。その前に書いてる履歴書を完全な物とし（今はまだ未完成なので）といっても空間はあと少し、そしていつかはその場で働かなければと思います。（働らきたいんですが）と言った時に、よろしければという反応を返してもらえたので、働いてみる価値はあると感じました。そして同時に、その言葉をありがたく感じました。



「たねやに異動して」

森 絵津子

7月1日よりひだまり配送センターから、たねやに異動しました。

たねやのことは、出張販売やお弁当配達で行くぐらいで話したことのないメンバーもいたので、なじめるかなあと少し不安はありました。

1日目は、「難しい！」と噂で聞いていた帯止めをメンバーに教えてもらい、練習をしました。

しっかり引っ張らないと緩んでしまう帯とかなり格闘しました。メンバー各々のやりやすいやり方を数種類教えてもらい、何日



か練習するうちに少しコツが分かってきましたが、まだ緩くなってしまうこともあるので、確実にきつく止められるように練習し、もっとスピードをあげていくのが目標です。

JPは丁寧にやりすぎていたようで納品日に少し焦ってしまったのでペース配分をしっかりと掴んで、やっていきたいと思っています。

個性豊かで優しいメンバーも多いので、沢山悩みつつも、楽しみながらメンバーと一緒に働いていきたいです。

「集中力」と「集中」と「飽きる」という事

シュレッダー事業部 小山 譲

サポート役に専念して、半年以上経ちますが最近では「飽きる」とか「集中」とか「集中力」などについて改めて考えています。それを自分的に解釈する事で、新たなサポート方法が見つけれられるといいなと思います。ところでなぜ「集中」と「集中力」別で考えているの？という方がいると思いますが、「集中」というのは、実質全ての意識を目の前の仕事やその他のやっている事に対して向けられている時間なのです。某学者によると脳が集中してられる時間はなんと10分くらいだそうです。（間違っていたらすみません。）そこから先は、やらなきゃ！とか時間内に収めるとか、いわゆる「社会的」に身についたものだと思います。難しく書きましたが、要するにやる気です。（笑）ですが、それこそが「集中力」だと思います。その大半を占める集中力が切れた時、「飽きる」のです。それが今の自分的な解釈です。「～だと思います」という表現ばかりですみません。あくまで自分的な考え方なので人によっては、全否定する人がいると思います。それでも構いませんのでね！考察論だ！とか言われるかも。長々と失礼しました。

札幌市障がい者協働事業
共働事業所

・製本作業
・ポストインク
・DM発送作業
・その他の軽作業

きばりや

共働事業所 きばりや

〒063-0061 札幌市西区西町北7丁目1-5 斎藤ビル1F
TEL:(011)669-3810 FAX:(011)669-3808

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

ガッツだぜ

星 悠

JPシール貼りや折りもやっています。
あと、ふりっぱーという情報誌を汗ダクダクで配っています。
新しい所へ行って、パソコンを覚えたり、その中では仕事とりが一番やってみたいです。
そして、自分は勉強したいです

終の仕事

濱中 孝仁

きばりやのみんなと一緒に8月の異動の時がたくさんの思い出で、最後にいろいろな仕事が終わる時に我々が新しい人を覚えてきたので誰が仕事でポストインクチラシ入れることです。
僕しかいないので、できるようにしたいです。
いつもありがとうございます。

ポストインク

今野 美志

春はあたたかく、あるくスピードもでる。
夏はあつさでバテることもある。水分補給も必要。



秋、多少さむいが、うごけば、汗も出る、体が冷えれば寒くなる。

冬は大雪の中、寒いけど、あるくスピードが出ない。

いわゆる春夏秋冬って言うやつ。



今月について

小西 学

今年は、1F図書室が新しくなり、カフェコーナーも加わってくるような仕事が増えました。
僕らは、これから1F図書室コーナーも手伝えて、嬉しくて最高です。どこの図書館や図書室にカフェコーナーがあったらいいなと思います。

カフェでの2週間は

為井 まどか

7/1から、エルプラザの1階に情報センターがリニューアルし、それに伴いカフェも1階でコーヒーとクッキーの販売を始めました。そのため、2週間という短い間でしたが、私もカフェへと出勤してきました。

まだまだ手探り状態の為、誰もが不安を隠せない感じだと思えます。それでも毎日、8時半から出勤して、それぞれ不慣れながらに準備をし、販売をしてきました。

今はまだ知っている人も少なく、なかなか売上げもあがりませんが、続けていくことで皆が慣れて、更に良いものを作っていけたらいいのかなと思いました。

私も時間がある時は、また一緒にお仕事をさせていたいただきたいと思いました。

Cafe de キバリヤより

冷たい飲みものがたくさん出る季節となりました。

暑い夏には有機アイスクリーム(¥250)もオススメです、今年のイチオシは

スーププレート(¥370)です。

当店のスープはとにかく野菜がたっぷり!ビタミン、ミネラルをたくさん食べて夏バテ知らずに!!



7月1日より、エルプラザ1階の情報センターがリニューアルし、1階でもコーヒーの販売を始めました。

本を読みながら、ゆっくりとコーヒーを愉しんでいただけます。

札幌駅近くへお越しの際には、是非ご来店下さい!!

キッチンとこだわり品の店
コン・ブリオ ひだまり コーナー
ひなたぼっこ

コン・ブリオひだまり TEL(011)615-4131
 西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F
ひだまり配送センター TEL(011)613-0611
 西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
 コン・ブリオひだまりに配送センターができました。

☆復興市に新しい仲間！☆

岩手の仲間の支援もお願いいたします

今までは宮城県の商品を仕入れていましたが、この度、岩手の仲間の商品も入荷いたしました！ぜひ岩手の支援もよろしくお願いたします。岩手県陸前高田市の『社会福祉法人燐々会あすなるホーム』さんから下記の物が入りました。

- **イサダフレーク…210円**
おひたしや焼きそばに。
- **藻塩…450円**
ミネラルたっぷり。根根布入りの塩です。天ぷら、焼き魚、おにぎりに。
- **あらびきさんま…300円**
鮭フレークのサンマ版！ご飯と一緒にどうぞ。
- **サイコロさんま…300円**
酒呑みにはたまらない一品です。お試しあれ!!

上記はひだまり配送センターで扱っております。ぜひ美味しいものを食べて復興にお力添えください。よろしくお願いたします。

東北関東大震災 復興市バザー



7月7日木曜日エルプラザにて、7月9日～10日トヨタハートフルプラザにて、復興市開催!!

キッチンニュース

暑い季節になってきました。熱中症などに気をつけて過ごしたいものです。暑い時こそしっかりご飯を食べましょう。栄養のバランスを考えながらね。ひだまりのお弁当などいかがでしょうか？ご注文お待ちしております。

新メニュー
『パン・プレート』登場!!
500円でコーヒー付き!



メンバーからの一言

蜂谷 和輝

5月から6月まで僕は北大病院に入院していました。今回は眼科としんけい内科に入院していました。先生からは、てんかんと言われて眼科では目が良くなりました。左目には人工レンズが入っています。6月27日に行った時には、左目0.05まで回復してきました。

節電ってー

中井 学



最近NEWSや報道番組等を観ていて思うことは、節電、節電とあまりにも言いすぎているような気がしています。個人の心情として節電や節約をすることは大変素晴らしいことではありますが、それを何かの一つ覚えのようにNEWS、報道番組、CM等で言いすぎたがために、熱中症や熱射病が去年の同じ時期の3倍になったと言います。私はそれらの原因の一つとして、お年寄や

生真面目な方が必要以上に我慢をしたため、それは報道等の影響もあると思います。

だいたい15%節電と言いますが、その15%とはどこから出てきた数字なのでしょう？日本の電力の3割（関西電力は5割）は何だかんだ言っても原子力です。将来的には、脱原発に向かうでしょうが、それは今でしょうか？まだ確立されていない発電方法を、あれもあるこれもあるというのは、いかがなものでしょうか？

今はそれよりもある物、使える物を最大限安全性を確保しながら活用すべきではないでしょうか、それも早急に。

鉱物資源のとぼしい日本にとっての資源は、知恵と技術のはずです。それを今現在において、コスト高で安定性にかけると思われる再生エネルギー電力を使って、今以上に知恵と技術が海外流出するのは、震災復興にも支障が出ると思います。皆さんどう思いますか？

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

ゆい
繭結



のび太の逆襲を信じて

繭結管理者 笠井 衛二

国民的な漫画「ドラえもん」の中で、こんなシーンがたびたび登場する。それは「いじめっ子の「ジャイアン」が「のび太のくせに生意気だぞ」といじめる場面である。「のび太」はいじめられっ子だから自分をわきまえろ、とジャイアンは言っている訳だ。つまりジャイアンはのび太に向かい、「分」をわきまえなさい、という社会的なルールの確認をしているといえる。

「分」のわきまえは、それぞれ「男らしくない」とか「女のくせに」というなんの根拠もない戯言がほとんどであるが、根拠がない分否定も難しい。そして「分」は道徳的価値として自立し、やがては「身分」として社会的な地位を得る。

障害者もそのとおりで「頑張る障害者」や「健全な障害者」が障害者の「分」であり、それをわきまえた障害者が社会通念上「正しい障害者」といわれる「身分」となる。そのため障害者は長年、酒やタバコはもちろん性欲などは絶対のタブーで修道院以上の禁欲を強いられ、故にか障害施設は奥深い山間に多く作られてきた。

そんな社会の期待される障害者像を打ち消すような、何かと意見を持つ障害者は「小うるさい障害者」だし、異議の多い障害者は「あの障害者はわがまま」といわれることが常だ。「分」を知らない障害者、「ジャイアン」にいわせれば「障害者のくせに生意気だ」となるだろうか。

障害者にとって、「わがまま」を言わなければ生きていけない現実があり、その「わがまま」こそが障害者自身の道を切り開いてきた実績だと充分に理解できるが、「わがまま」呼ばわりにはもう一つの理由もある。

それは障害者に対する待遇である。障害者年金を受給し、税制優遇や障害手帳による幾多の制度を充分(制度が充分という意味ではない)に活用しながらの異議の申し立ては、これ以上なんの「わがまま」があるのだ、という声がするのは当然かもしれない。

つまりは、「ちゃんと障害者には優遇してるよね、だから満足しててね」と「分」をわきまえよう、

と国は言っているのだが「貰える物は全ていただくが、それでも許さないぞ」という障害者の意識も障害者の論理での「分」であり、障害者「身分」に固執した結果は、まさに獲得を主眼においた階級闘争を髣髴とさせる。

ノーベル賞作家の大江健三郎のご子息光君は、自閉の作曲家としても有名で美しい曲を書くが、大江健三郎は「障害者が作った曲が、障害者だからピュアというのは間違いだ」と明確に押し付けの障害者という「分」を拒否し、差別とは何かを30年も前に明らかにした。

大江健三郎の主旨は明快だ。障害という特別性との決別であり、身分制度の解体ではなく、障害という身分の返上であるとシンプルに語った。

※障害そのものについては、精神の妄想を薬で抑える療法を障害者が拒否(僕の許可無く妄想君を消すな!)したり、聴覚障害者の思い(聾の子が欲しい)があつたりと多様化がすすんでおり、今後別稿としたい。

障害者は障害者手帳の返還が出来るだろうか。それは否、であろう。現行の制度はあまりにも障害者手帳に依存している。けれど障害者は自らの手帳をどう思っているのだろうか。必要悪なのか便利な制度なのか、差別はどのように生きているのか。

また、福祉組織の広報誌というだけで内容が福祉オンリーというのも、身分に束縛された悲しい結果だ。障害者だから障害・福祉について叙述しなければならない、は差別である。

福祉について誤解を恐れずに明記すれば、福祉とは人の夢である。あの人もこの人も黒も赤も右も下もなんであれ垣根も障壁もない、病気も身長も出身も学業も性格も年齢も親子も世界をも区別しない、障害手帳などや介護度という差別レッテルが価値の無いあたりまえをあたりまえに暮らせる社会を望むのが福祉であると信じた。

のび太がいじめられている。のび太に必要なのはドラえもんか、それとも勇気か。

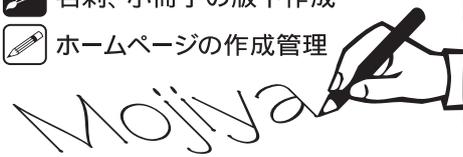
彼の逆襲に期待したい。



共働事業所 もじや

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理

〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO 1F
 TEL (011)644-5533 FAX (011)613-9323
 E-mail: mojiya@adagio.ocn.ne.jp



きばりや配属への抱負

南條 恭彦

もじやに入社して早いもので2年が経ちました。そして今年8月、きばりやへ異動が決まりました。もじやでは最初の業務が名刺、ハガキ印刷でした。その間、名刺やハガキの見当を合わせたり、インクの濃さを合わせるのに、かなり苦労しました。しかし本格的な印刷の経験のなかった僕にとっては、貴重な経験だったと思います。

そして1年後制作のほうに配属になり、主に文字校正、名刺やハガキの版下の校正、一太郎での文章入力、テープおこし等を担当しました。工場とは環境が大きく変わり、パソコンを主体とした作業なので、それほどスキルがなかった僕は、配属当初は同じスタッフの加藤さんに基本からパソコンを教わりました。そして少し時間が経過して、門田さんや早川さんから仕事をいただき、みなさんからの親切なご指導で少しずつスキルを磨きました。そうして半年が経ち1年が経ってイラストレーターの基本もマスターすることができたので楽しかったです。

制作のみなさんには大変お世話になりました。今度8月からは、きばりやに配属になります。ポスティングや軽作業が主な仕事になりますが、特にポスティングは初めての分野です。1日でも早く仕事を覚えて、きばりやのスタッフとして恥じないよう、一生懸命頑張りますので、これからもよろしく願います。



もじやでは…

門田 輝美

もじやでは色々な障害をもつスタッフと、一般で言う健常スタッフが力を合わせて働いています。私たちは共に働く仲間なので、障害の有る無しに関わらず、出来ないことは助け合うと言う当たり前の対等の関係です。そのため障害者スタッフと健常者スタッフと言う表現には抵抗があるのですが、ここでは解りやすいためにあえて使わ

せて頂きます。

もじやの障害者スタッフが抱えている障害は、精神・知的・身体と様々ですが、みんな上手に自分の障害とつきあいながら仕事を頑張っています。

色々な障害を抱えているので出来る仕事も様々。バリバリ仕事をしている人もいればマイペースで仕事をしている人も…。今はまだ健常者スタッフに負担がかかることも山ほどありますが、働くと言う意識改革で、みんながそれぞれ自分の仕事に責任を持ち、今できる力を精一杯活かし、それプラス、もうちょっと頑張れば、もじやはもっともっと働く集団として成長出来ると思います。

また、ライフには色々な方々が見学に訪れます。障害者施設、高等養護学校・福祉の専門学校・社会的事業所を勉強している方・障害者を子どもにもつ親御さんなど見学者は様々ですが、もじやを見学した方は、障害者が本格的に印刷に取り組んでいることに驚かれる方が多いようです。もちろん印刷のプロやデザインのプロが健常スタッフにいても確かですが、障害者スタッフの力もとても大きいと思います。障害があっても共に働き協力すればさらに色々な可能性が広がると思います。

次ページで紹介している、**誰もが働ける社会を「障害者等の就労を考える 社会的事業所の役割」NPOライフブックレットNo.2**はもじやで制作しています。講演会の内容を障害者スタッフがテープおこし(今はMP3おこし?)から校正までを手がけており、健常スタッフがデザイン・編集という形で仕上げしております。是非々お買い上げになって、お手に取りお確かめ下さい。

話は変わりますが、私も8月よりきばりやに異動になります。きばりやでも印刷事業を手がけ、もじやのアンテナショップ的な仕事もやることになり、異動することになりました。もじやの仲間とは2年3カ月と言う短い間でしたが、とても楽しく仕事が出来、色々なことを学びました。みんな、本当にどうもありがと。これからはきばりやで頑張るからね。みんなも元気に頑張っね～!!





今年の1月に開催したセミナー
 「障害者等の就労を考える 社会的事業所の役割」の
 講演記録が出来ました！

npolifebooks

NPO ライフ
 窓ぼろ人間福祉
 ブックレット

02

誰もが働ける社会を

講座
 「障害者等の雇用を考える
 社会的事業所の役割」報告集

公は制度がないと動かないし、儲からないと
 民は動かないけど、公でもない民でもない、
 この社会の我々の生き方というのを
 とりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

(株)ナイス代表取締役 富田 一幸

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、
 「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。
社会的事業所とは何か？
 その理念と実践の取り組みが解りやすく
 語られています。

NPO ライフブックレット No.2
 『誰もが働ける社会を』 6月30日発行
 定価 1,000円(送料別) A5判 140ページ

●お申し込み

NPO 札幌障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F
 電話：011-633-6666
 F A X：011-613-9323
 メール：honbu@npolife.net

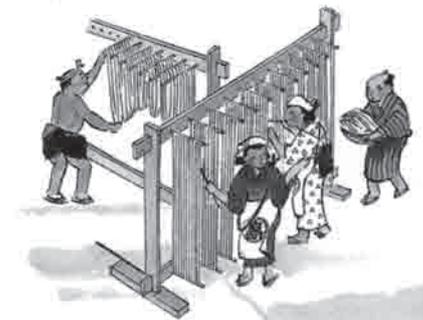
ご注文承ります!

長崎島原名産

蔵田本格手延べ

島原手延そうめん

ひやむぎ



製造元 島原手延素麺協同組合

発売元 NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOMOIライフ事務局
TEL(011)633-6666
FAX(011)613-9323

伝統の味わいを心ゆくまで
お楽しみ下さい。

「細さ」
「舌ざわり」
「こし」



①ひやむぎ・麦作
化粧箱・1500g詰 (150g×10束)
包装外寸=297×240×39mm
標準小売価格 1個 ~~3,675円~~
2,550 円



②そうめん・夏ごごろ
化粧箱・1800g詰 (50g×36束)
包装外寸=318×220×42mm
標準小売価格 1個 ~~4,200円~~
2,800 円



③そうめん・細糸の舞
木箱・2000g詰 (50g×40束)
包装外寸=335×210×47mm
標準小売価格 1個 ~~5,250円~~
3,500 円

島原の手延そうめんは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されており、私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどの通り、どれをとりますしても、ご満足頂けるものと存じます。又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。暑い夏、島原の手延そうめんを食べて、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。長い伝統と独特の技術で製造された島原手延そうめんは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

《おいしいゆで方》

①そうめん
多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。ゆで時間は2分程が標準です。お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早目にお召し上がり下さい。

②ひやむぎ
多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらします。お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早目にお召し上がり下さい。

商品注文書

No.

※取り扱い事業所
NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOMO 102
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

- 商品番号は左頁を参照して、お申し込み下さい。
- 住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。
- 郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

FAX(011)644-0088

品名	値段	個数	金額	備考
① ひやむぎ・麦作	2,550円	個	円	
② 夏ごころ	2,800円	個	円	
③ 細糸の舞	3,500円	個	円	
	合計個数	個	合計金額 円	総合計金額
	送料		円	円

◎電話・FAXにてお受けしています。

申込者	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		FAX	
お届け先①	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	
お届け先②	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	
お支払い方法（番号を○で囲んでください）				
1. 現金（代引はお取り扱いしておりません） 2. 郵便振替／02710-4-63485 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ				

※お支払い方法をお忘れなくご記入下さい。 ※「郵便振替」の際は、「そうめん代」等とお書き下さい。

※全て消費税込みの金額となっております。

※送料は、市内・道内は5個まで1件につき500円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。
6個以上は5個毎に200円の追加料金がかかります。（離島・沖縄は実費送料必要です）

私のオススメ

山田 太一 著 「空也上人がいた」

ライフ理事 我妻 武

気になっていた本をやっと読むことが出来た。物語に登場するのは3人。81歳で車いすを利用している老人男性と46歳の女性ケア・マネージャー、そして主人公である27歳のヘルパーで少しへこたれている僕。

少しへこたれた僕は、ある事故が原因で車いすの女性を死なせてしまう。女性が亡くなったのは、その事故が直接的な原因ではなかったが、彼は自分を責め続けて老人ホームを辞めてしまう。

そこに知り合いのケアマネから依頼があり、訪ねた先に不思議な老人がいた。その老人は僕に不思議なリクエストを出す。一人で京都へ行き、空也上人の像を見て来いという。しかし、僕は空也上人の目を凝視することが出来なかった。空也上人像の目が亡くなった車いすの女性の目と重なったからだ。

実はその老人にも誰にも言えない過去があった。そして、奇妙な3人の関係はどう展開して

いくのか…

ドラマの脚本を手掛けている作者だけあって、「ふぞろいの林檎たち」のように主人公の僕を通じて心の動きや葛藤が語られている。

人間、大なり小なり負い目や後悔、懺悔の念を持っている。そんな孤独で弱い人間たちは、そうした過去の出来事を媒介にして人とつながるのではないだろうか。そして、それは許しや癒しにもつながるのではないか。

そんなことを考えながら登場人物に共感して一気に読み終えた。

発行：朝日新聞出版
定価：1200円+税



🎉 ご協力ありがとうございます 🎉

アドボケ購読料

北田 弥生様 鈴木 正明 様
高橋 秀樹様 高橋 めぐみ様
石田 章 様 小倉 菜穂子様
労働者協同組合 ワーカーズコープ様

賛同会費

西川 捨克様
福田 敏夫様

寄付金

山内 亮史様

ありがとうございます 🙏

編集後記

突然のダウンで皆さんにご心配をおかけしました。特にヨシさん、ありがとう。文章からのエールは何よりのお見舞いになりました。お陰さまで少しずつ回復しており、少しずつ仕事も開始しました。ライフも新たな拠点が増えました。当面は引っ越し等のゴタゴタで皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。これまで以上にライフへのご支援をお願いいたします。この後記を書き終えて、長い旅からやっと帰ってきたという感じです。少し大袈裟ですね。(タケ)

アドボケイト 文月号(第128号)

2011年7月10日発行(毎月10日発行) 通巻第472号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
事務局長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円